



総会で挨拶する原田完会長。

京都府本部 第36回総会を開催！

京都の同盟運動の 更なる発展・強化を！



(565号付録)

京都版 第432号

2021年7月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

京都府本部

〒604-8832京都市中京区

壬生下溝町 51-41

(電) 090-8575-9851

fax 075-325-3863

E-mail info@kokubai-kyo

to.com

ホームページ [https://ko](https://kokubai-kyoto.com)

kubai-kyoto.com

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟京都府本部の第36回総会が、7月3日に開催され26人が参加しました。コロナウイルスの感染拡大の下で、密にならない座席、マスクの使用、部屋の換気、短時間の使用などに注意しての開催でした。

最初に原田完会長が、この1年間に亡くなられた17人の会員に黙祷を捧げた後、最近の情勢と高まる同盟の役割を強調し、開会あいさつを行いました。

メッセージは、治安維持法同盟の中央本部と大阪、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の近畿5府県本部、国民救援会京都府本部、新社会党京都府本部、日本共産党京都選出の衆・参院議員から寄せられました。

討論は、6人で、元気に、活発に行われました。京丹後支部、宇治洛南支部からの発言、「伊藤千代子の生涯」や、顕彰活動での前進を目指す発言が続きました。

討論の後、活動報告と方針、会計報告と予算、監査報告、規約改正を承認し、新たな役員を選出しました。

会長に再任された原田 完会長が役員を代表して決意表明を行い、総会は終了しました。

治安維持法 国賠同盟
 京都府本部第36回総会
 へのごあいさつ

府本部長

原田 完

国賠同盟府本部36回総会へのご参加で苦勞様です。

まず最初に前総会から志半ばでお亡くなりになられた8名の方をご紹介し、ご冥福をお祈りするため、黙とうをささげたいと思います。「黙とう」。お直りください。

第36回総会の、開会のご挨拶をさせていただきます。いまコロナ禍で国民生活は大変厳しい事態にあります。京都でも5月には二人の方が医療機関に掛かれず、一人は自宅待機中に、もう一人は入院待ちでホテル療養中の待機中に医者に診てもらったことなく、お亡くなりになると

いう痛ましい事態も起きています。

このような深刻な事態にも拘らず、自民党菅政権は医療関連法の改悪をおこない、病床ベッドの削減を消費税を財源に行う暴挙を強行しています。公立病院436床の削減なんてとんでもない話です。

更に高齢者の医療費の2倍化法を成立させ国民生活を苦しめています。

しかも、国会最終日に深夜国会までして強行成立させたのが、土地利用規制法です。この法は基地周辺1キロメートルを注視地区として、これまで違憲とされてきた自衛隊に、国民監視権限を与え、国民の思想信条、家族構成、交友関係等々個人の思想調査まで行うものです。

戦前の軍機保護法、要塞地法、治安維持法と同じように国民の監視と人権侵害、思想弾圧につ

ながる危険な法律であり、廃案にしなければなりません。

政府の恣意的な判断で原子力発電所や他の施設へと拡大されるもので、民主主義の原点ともいふべき、国賠同盟として取り組む重要な課題です。

京都府議会に土地利用法の廃止を求める請願が出され、総務警察委員会審で自民党、公明党、維新、府民クラブ(旧民主系)が請願を否決しました。

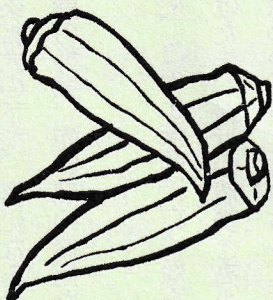
安全保障問題だと言ひ、維新は注視地域を1キロでなく3キロ、5キロと拡大して監視が必要だと、常軌を逸した反対討論が行われました。

菅政権は発足して最初の仕事で日本学術会議の6名の否認であり、その反動的姿勢を最初から行ってきました。

菅政権はカシノ贈収賄、広島の大規模選挙買収事件、吉川農林大臣の贈収賄事件と、国民的批

判が強まっています。しかも、コロナ禍で第5波が危惧される事態の中で、遮る無オリンピック・パラリンピック開催を強行し国民の命よりオリ・パラの開催を強行する姿勢には強い国民的批判があり絶対に許されません。

厳しい状況下でこの10月までには衆議院総選挙があり、市民と野党の共闘、その要としての共産党の勝利で自民党政治を終わらせましょう。



西村清三という

生き方 (断章)

―反戦反ファッショ
をつらぬいて―

佐藤 和夫

ろう。その間、豚箱の外で新聞の号外を配る鈴の音が西村に聞こえた。豚箱の新入りの男から、9・18の日本軍の満州占領の話が聞かされた。この大檢舉の理由が、はっきりわかった。

治安維持法違反で8月に檢舉され、9月の末に起訴猶予処分となった。釈放後は特高の目を逃れるため、住所不定の地下活動をしていた。翌1932年、全協日本一般を再建し、新興キ

京都地区常任書記西村清三が入党し、共産党京都市委員会準備会を組織した。委員長は坂斉(元新興キネマ)で西村(元高島屋店員)は赤旗配布と全協関係を担当した。坂斉の「映画に生きる」(1976年6月、労働教育センター刊)では、西村清三は「高島屋の仁志村」という全協活動家としてでてる。

5月21日の京都市会選挙では、京都地方無産者団体協議会から立候補した津司市太郎、森英吉、朝田善之助を押し、選挙ピラなどをまいた。西村は寺町通今出川上がるの田村敏男宅の二階に色川善助を京大農学部関係の情報聞きに尋ねた。色川は絶対安静の病床に伏していたにもかかわらず、資金カンパをした。ピラの紙代にも窮していた西村は喉から手が出る思いで、組織の一員として有難くいただいたが、まもなく逮捕されてしまっ

た。1933(S8)年の京大滝川事件の最中に、共産党京都市委員会と共青が、「六・二〇弾圧」で84人が檢舉されたのだ。この治安維持法違反により山科刑務所で3年間服役した。服役中の1935年夏、山科刑務所の受刑者の運動時間のおりに前川留男と再会した。前川は全協日本一般使用人組合京都支社大丸分会出身だった。特高の竹刀の滅多打ちで左眼をやられていた。高島屋分会の西村とは、全協活動家として顔見知りだったが、前川は1932年の党や全協の再建に参加し、9・3の弾圧を受けた。

(次号につづく)

二六事件」で弾圧を受けた。五条警察署の留置所第一監房にぶち込まれた。五条署の二回の特高係の部屋に入るなり私服の一人が引致の理由も言わず名前も聞かず「この野郎ッ」とばかりに帯革を鞭にして西村の左横面を力いっぱいしばきあげた。革帯の先端には金具がついていて、左の睫毛と瞼との間から血がしたたり落ちた。もう少し下を打たれたら左眼はつぶれていた

ネマ争議の中間檢舉の「九・三弾圧」で共産党京都市委員会は壊滅状態となったが、西村は逃きつた。1933(S8)年全協繊維と同金属組合で関西地方協議会を結成した。この間、昭和7年から8年に京都消費組合の合同拡大に努力し常務者だった。

同年5月上旬、関西地方委員会からのオルグにより全協京都地区書記局長坂斎小一郎と全協



第36回総会で選出された府本部役員

〈会長〉

○原田 完

〈副会長〉

○佐藤 和夫 ○三原 哲

〈事務局長〉

○藪田 均男

〈常任理事〉

○杉山 勉 ○藤原 元幸

○水口 武夫

〈理事〉

○有元 美津子 ○河野 暉夫

○川久保 雄二郎 ○小林 東一

○白子 譲 ○田口 克己

○谷口 公洋 (新) ○林 森一

○松村 満行 ○水谷 文信 (新)

○吉田 容子

〈会計監査〉

○木村 充 ○山田 清

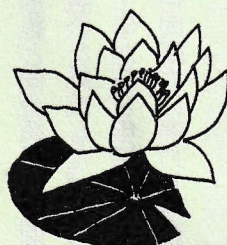
〈会計〉

○杉山 勉

〈顧問〉

○三双 順子 ○前窪 義由紀

○宮城 日出年



お誘い合って参加しましょう！

2021年第41回

戦争展

7/23～24 9:30～4:30

京都教育文化センター

治安維持法 国賠同盟 京都本部が
作品展と次の講演会を主催します！

講演会は

「こころざし つつたふれし おとめ
千代子 24歳の生涯

『時代の証言者・伊藤千代子』

講演者は「時代の証言者・伊藤千代子」
著者の藤田廣登さん

7/24 (土)

10:30～12:00

教文センター大ホール

.....100年前、権
力に抗して声をあげた少
女がいた.....

戦前の治安維持法で弾
圧され、24歳で命を奪わ
れた伊藤千代子。

侵略戦争に反対し、主
権在民・ジェンダー平等
の社会をめざした千代子
が今、注目されています。

待望の映画化！いよいよ製作始動！

総監督：桂 荘三郎 題名は「わが青春つき
るとも」—伊藤千代子の生涯—

「いい映画には人間の生き方に影響を与える力がある。特
に若い人へ見て頂きたい作品とする」と決意。作品に「ア
ンダンテ・稲の旋律」「校庭に東風吹いて」等多数。